

1. 事業の方針

わたしたちがすんでいる地域のすべての子どもたちを育む文化活動をめざす

(1) 豊かな鑑賞活動をめざそう

県内で検討会議(子ども劇場山口県センター例会企画会議)が開かれ、作品研究や共同コース作りなど専門的に鑑賞についての取り組みが進んでいる中、萩子どもセンターでも年々質の高い作品を鑑賞することができるようになった。個々の鑑賞の取り組みについても、各ブロックが工夫を凝らし、意欲的に活動を進めた。鑑賞後の創造団体との事後交流(ロビー交流)も定着してきた。しかし、鑑賞への参加、また鑑賞の準備や後片付けへの参加が少なく、次年度への課題が大きく残った。

フェスティバルは今年で10回目を迎え、各ブロックごとに作品を取り組み、多くの子どもたちに喜ばれ、成果をあげることができた。

(2) 子どもの権利条約の啓発につとめよう

子どもセンターおやこニュース紙上において、毎月「子どもの権利条約を知ろう」として掲載した。(開始以来50シリーズを数え今後も続けて行く方針) 広く一人一人の会員さんからたくさんの地域の方に子どもの権利について関心が広がるよう努力が必要である。

(3) 人の集まる、人から頼りにされる「萩子どもセンター」になろう

今年度、新しいリーフレット(前ごあんない)を作成、子どもセンターを広くアピールし、賛同者を呼びかけた。子どもセンターの理解者を広げ、ネットワークをどのようにして拡大していくか、人材不足のなかでの広報活動に課題が残る。

2. 事業の実施に係る事項

(1) 特定非営利活動にかかる事業

事業名	事業内容	実施予定日	実施場所	受益対象者の範囲及び予定人数
舞台鑑賞事業	舞台鑑賞 生の舞台を親子で体験する事により、感性を揺さぶり心を育てることを目的とし、プロの創造団体による年4回程度の公演の企画、実施。 ・あいつ こいつ きみは誰? (劇団うりんこ) ・観客参加人形劇三びきの子ぶた(丹下進オフィス) ・母里のまつり 森の詩(民族歌舞団 荒馬座) ・トーナドーナの音楽会(ロバハウス)	9月26日 18:30~ 10月19日 18:30~ 12月4日 18:30~ 平成14年 2月21日 18:30~	土原体育館 明倫小学校 体育館 土原体育館 萩市民館 大ホール	175人 77人 169人 263人
	子ども舞台芸術小公演(フェスティバル) 子どもたちが歩いて行ける身近な場所で、友だちといっしょに生の舞台を体験する、日頃鑑賞会が実施できない地域での取り組みを目的とした、プロの創造団体による舞台小公演。山口県子ども舞台芸術フェスティバル(子ども劇場)			

	<p>山口県センター主催)の一環。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こまサーカス (日本独楽博物館) ・風の子あそびや「とっぴんしゃん」 (劇団 風の子九州) ・不思議ってステキ (太田ひろし事務所)) 	<p>6月 9日 10:00~</p> <p>6月18日 19:00~</p> <p>6月25日 19:00~</p>	<p>堀内体育館</p> <p>明倫小学校</p> <p>椿東小学校</p>	<p>165人</p> <p>152人</p> <p>217人</p>
子どもの諸活動支援事業	<p>高学年活動</p> <p>4年生以上の子どもを対象に 月1回の交流会の企画、実施。</p> <p>5月 たこ焼きパーティー</p> <p>6月 クレープパーティー</p> <p>7月 カレーパーティー</p> <p>8月 かき氷パーティー</p> <p>9月 お好み焼きパーティー</p> <p>10月 焼いもパーティー</p> <p>11月 ハンバーグパーティー</p> <p>12月 クリスマスパティー</p>	<p>5月25日</p> <p>6月 2日</p> <p>7月27日</p> <p>8月 8日</p> <p>9月22日</p> <p>10月20日</p> <p>11月24日</p> <p>12月24日</p>	<p>事務所</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>吉見宅</p> <p>事務所</p> <p>〃</p>	<p>22人</p> <p>15人</p> <p>12人</p> <p>21人</p> <p>7人</p> <p>8人</p> <p>11人</p> <p>16人</p>
	<p>サマーキャンプ</p> <p>恒例のサマーキャンプを開催 事前の下見から企画を高学年実行委員が進め開 催、異年齢の交流、体験の場になった。</p>	<p>8月11.12日</p>	<p>青海島 キャンプ村</p>	<p>16人</p>
	<p>ストリートダンス</p> <p>萩夏まつりでのダンスもすっかり定着し、い きいきとした子どもたちの表現の場になってい る。また、今年は山口市での平和の鐘「平和の 鐘を鳴らそう」に参加。積極的に活動範囲が広 がった。日本生命財団より助成を受けて可動式 三面鏡を購入、これにより、事務所でのダンス レッスンが可能になり、年間を通しての活動に つながった。会員外の子ども(特に高学年)の 参加者も増え、子どもの居場所として浸透して きた。しかし、これを支える大人の人材が不足、 どうサポートしていくかが問われている。</p>	<p>萩夏まつり 8月3日</p> <p>平和の鐘 8月15日</p> <p>レッスン 月3回程度 (不定期)</p>	<p>吉田町</p> <p>山口市 サビエル記 念聖堂</p> <p>事務所</p>	<p>37人</p> <p>23人</p> <p>毎回 10~20人</p>
	<p>国際交流活動</p> <p>出発地球号！パートⅢ</p> <p>3年目の締めくくりを迎えすっかり定着した 国際交流となる。この実績をこれからの活動に 活かし、交流の場を新たに生み出していきたい。</p> <p>①お茶の文化体験コース</p> <p>②和太鼓体験コース ハロウィンデコレーション作り</p> <p>③大交流会(ハロウィン)</p>	<p>5月20日</p> <p>8月 6日</p> <p>10月13日</p> <p>10月27日</p>	<p>萩市民館 講義室ほ か</p> <p>萩市民館 有備館</p> <p>事務所</p> <p>田町イベン トホール、 サンリブ萩 店及び田町 商店街</p>	<p>1回50人</p> <p>70人</p> <p>72人</p> <p>13人</p> <p>89人</p>

	<p>県中高生交流会 子ども劇場山口県センター主催、県内の中高生の交流会に参加。萩からは実行委員3名(うち実行委員長、副実行委員長各1名)企画から、実施まですべて子どもたちの手により開催。萩からは会員外2名の参加もあった。</p> <p>子ども劇場全国センター主催、沖縄で学ぶ！リーダーへの旅(ファシリテーター養成講座)に萩から2名参加。全国の子どもたちと有効な4日間を過ごし、今後の高学年の活動に大きな力となることが期待される。</p> <p>子どもの広場 子どもたちの遊びの空間を企画、提供する。会員外の協力も得て、子どもたちの遊び場となり、お祭りを楽しんだ。</p>	<p>平成14年 3月23,24日</p> <p>12月22日 ～25日</p> <p>8月3日</p>	<p>萩青年の家</p> <p>沖縄 「じんぶん学校」</p> <p>夏まつり会場</p>	<p>17人 (県全体 138人)</p> <p>2人</p> <p>不特定多数</p>
子育て支援事業	<p>ピヨピヨの会 0歳児から就園未満児までの親子を対象に遊びの広場、学習会、交流の場を提供。乳幼児を持つ親同士のコミュニケーションをはかる。月2回、自由遊びと企画会を組み合わせ定例化する。</p>	<p>年18回 (うち1回は雨のため中止) 10:00～ 11:30</p>	<p>萩総合福祉センター 一ほか</p>	<p>延べ 279世帯</p>
	<p>子育てミニミニ講座 身近な人や専門家を講師に、子育てについて楽しく学びあう講座を企画、実施。</p> <p>第1回 本音で語ろう 家庭・学校・地域 講師 保育園、小学校、中学校の先生</p> <p>第2回 一人で悩まないで母さん 講師 三島正英(山口大学教授)</p> <p>第3回 子どもの発達を促す絵本とおもちゃ 講師 梅本美樹(子どもの友社)</p>	<p>8月28日</p> <p>10月18日</p> <p>11月15日</p>	<p>萩市民館</p> <p>萩総合福祉センター 事務所</p>	<p>1回30人</p> <p>15人</p> <p>23人</p> <p>14人</p>
	<p>その他 KRYテレビ「はつらつ山口っ子」モニターを委託され、年26回分のモニターをする。</p>			
	<p>自主的影絵集団「ぺっぴんしゃん」による学校ほか施設の訪問公演(無料)の支援</p> <p>セミナー参加や地域のブロック、サークル交流会等活動支援。</p> <p>ストーリーテリング(お話の会)昔話や童話の世界を語ることによって、本の世界を伝える。</p> <p>あ・そ・び・ば 子どもの居場所づくりの支援として、開催。 第1回 影絵をみよう 第2回 読み聞かせ(おもちゃ絵本展と併設)</p> <p>おもちゃ絵本展 子どもの発達を考えたおもちゃや絵本の展示を行う。たくさんの方が興味を持って入場され、子どもセンターを知らせるにも良い機会となる。</p>	<p>年18回</p> <p>年数回</p> <p>学習会 11回</p> <p>11月24日 12月15日</p> <p>12月15日</p>	<p>市内近郊の学校、施設</p> <p>萩市民館</p> <p>事務所 "</p> <p>事務所</p>	<p>延べ945人</p> <p>延べ69人</p> <p>30人 不特定多数</p> <p>不特定多数</p>
子どもと文化に関する活動支援事業	子どもと文化に関する活動の紹介、広報活動(チラシ、パンフレットの作成ほか)			
子どもと文化に関する活動広報事業	子どもと文化に関する活動の紹介、広報活動(チラシ、パンフレットの作成ほか)			
子どもの権利条約推進事業	ニュースなどで広報、啓発。	ニュース10回		

活動のまとめ

☆ ブ ロ ッ ク

椿東ブロック

ブロック長 有田真美子
委 員 浴野和枝・城一雅子

- ・ ブロック会
- ・ フェスティバル公演(太田ひろしまジックショー)
- ・ お正月会

どこのブロックも同じ悩みを抱えています。椿東も例外ではなく、会員の減少・ブロック会の参加者の固定化など、現在の活動状況はマンネリ化を迎えています。これから、学校週5日制を踏まえ子どもセンターが新しい転換を見せようというとき、土台となるブロックの弱体化はあまり好ましいものとはいえません。

今後、私たち会員の一人一人が子どもセンターに何を求め、何が出来るのかもっと明確にしていく必要があるのではないのでしょうか。まず、ブロック内のきちんとした話し合いがもてるようブロック長としては努力していきたいと思えます。

指月ブロック

ブロック長 市原加代子
委 員 樋口ますみ・清水和子

指月ブロックでは、主にフェスの取り組み、担当公演の準備、当日などが活動の中心になりました。

フェスで取り組んだ「こまのおっちゃんのこまの

中央ブロック

ブロック長 大嶋千鶴子
委 員 松野奈生子・沼沢妙子

6月に「劇団風の子九州の風の子あそびやとっぴんしゃん」に取り組みました。当日は152人の入場者で楽しい時間を共有することができました。抽選あり苗のお土産ありの催しも楽しんでもらえることができました。

9月は「劇団うりんこのあいつこいつきみは誰？」を担当しました。劇団員の方をお招きしての事前交流も開催し、当日は175人の入場者でうれしいことに4世帯12人の方の新入会がありました。公演後の事後交流もたくさんの子供達が残ってくれて劇団員の方とふれあうことができました。

どちらも皆で協力して準備、運営することができましたが、一部の方の協力を頼ってしまっているという課題をのこしました。また、ブロック会も後半は開催できませんでしたので、お知らせや呼びかけが徹底できませんでした。ブロック内の交流を深めるためにも、今年度できなかった交流会を来年度は開催したいと思います。

14年度は、指月・中央ブロックとしてすた一とします。ひとりひとりの力を少しずつ出し合って充実したブロック活動をすすめていきましょう。

サーカス」は、堀内体育館で165名ものたくさんの人たちと観ることができました。子どもたちとおっちゃんが会話をしながら作り上げていく、そんな一体感のある楽しい舞台でした。

それぞれの会員個人では、子育てミニミニ講座、国際交流への参加、おもちゃ絵本展のお手伝いなど積極的な動きがありました。

今年度は、ブロックでレクレーションなどを行うことができず残念でした。

☆ 専 門 部

企画部

高学年

部長 吉見浩子

スタッフ 横田千賀子(高学年担当)

田村美千代・木村朱美・長谷妙子

江山規子・小野敏子・藤原智恵子

「出発地球号！子どもの国際交流」3年目でした。2年間いろいろな国の文化をみて、3年目は“外国の文化に触れながら、もっと日本の文化に目を向けて日本を好きになろう！”をテーマに取り組みました。参加者が思うように集まらないという現実がありますが、参加した子どもたちはいきいきと新しい体験に心弾ませていました。

3年計画で始めた「出発地球号！子どもの国際交流」も今回で終了しました。この事業で得たことを基にこの子どもの国際交流をどのように発展させるかが今後の課題です。

高学年活動のまとめ

高学年代表責任者 横田明彦

今、萩子どもセンターの高学年活動で主なものは、春に中高生交流会、夏にストリートダンス、キャンプがあります。昨年の春に、高学年の代表者数名で集まった時、高学年の名簿を見て感じたことは“こんなにたくさんの方がいるんだ”ということでした。その人たちの中で以上のような高学年活動に参加している人ははたして何人いるのでしょうか？参加していない人は“会費を無駄に払っているのではないだろうか？”と思いました。そして、高学年活動に参加している人でもしばらく会わないうちに、せつなく友達になった人の名前や顔を忘れてしまうのではないだろうかと思いました。

そこで私たちは、「月例会」というものを企画してみました。この「月例会」の元となったものは、吉村君や安達君たちがたまにみんなで集まって、料理を作ってみんなで食べて交流していたものです。それを参考にして、本格的な高学年活動として取り入れてみました。そして、私たちが企画した「月例会」とは、月に一度みんなで集まって、料理を作って食べようという企画です。しかし、いざこの企画を実行してみると、話し合いで全員集まらなかったり、参加者が10人いなかったり、役割分担がうまくいかなかったりと失敗続きでした。そのほかにも交通手段、場所の確保、日時などいろんな問題がありました。

しかし、そんな中、わずかながらでも友達の手を握ることができ、大人の人とも交流することができまし

た。今この月例会を通してみると、失敗の方が多かった気がします。でも、本来の高学年活動に大切なことというのは以上のようなことではないでしょうか。失敗をして反省があるから次につながると思います。少なくとも何もしないよりよかったですと思います。次年度はこれらのような反省を活かして、今年度の高学年活動よりいいものにしていきたいです。そのためにも一人ひとりの協力が必要となります。参加、協力して下さった方々、本当にありがとうございました。そして、次年度もよろしく願います。また、参加できなかった人たちも参加してください。よろしく願います。

ピヨピヨ

部長 伊藤京子

スタッフ 溝部美樹・城一雅子・白神洋子

田中弘美・中村芳江・末武佳苗

今年度は、季節遊びを中心にお母さんたちに向けての学習会を、多く持ちました。おもちゃや絵本の話、子育ての中必ず出てくる悩み解決方法、そして子育ての原点の話など、幅広く企画実施しました。

子どもたちが安心して遊べる場であると共に、お母さん方にとって専門的、理論に添った子育ての安心感を享受できる場として求めているように思いました。

初めての参加者も毎回のように来られ、定着した子育てサークルの役割が少しは果たしているかなと思います。

近頃は他の子育て支援の活動も少しずつ広がりをみせています。

ピヨピヨも他の子育てサークルとの連携を持ちながら、ピヨピヨならではの活動を考えていかななくてはなりません。

財政部

樋口ますみ

スタッフ 金子真弓・堀 正美

津志見とみえ・津室ひとみ

みなさまご協力ありがとうございました。

おかげさまでシーズンごとのチョコレートの売上は定着してきました。職場で注文をまとめてくださる会員さんにも大きく支えられています。恒例となった“しろうおまつり”はお天気もよくたくさんの参加があり、活動・交流の場としても意味があるようです。

チョコレートは、常時事務局に置いてありますのでご利用ください。

☆ 舞台鑑賞会

中央
ブロック
担当

「あいつ こいつ きみは誰？」

《劇団 うりんこ》

2000年10月6日(金)18:30～

萩市民館 大ホール

ちょっぴり気の弱いツヨシくん、茶目っ気たっぷしずかちゃん、乱暴だけど寂しがりやの平太くん、登場する3人の元気いっぱいの子供達に会場は笑いにあふれていました。そして、ベットがすべり台になったり蛇口から水が出てきたり、不思議いっぱいの舞台にも驚きの連続でした。言葉や服装や遊びや悩みなど、等身大の子供達の活躍は見ていた子供たちの心に友達の1人として残っていくのではないのでしょうか。「みんな違ってみんないいんだよ」そんなメッセージが込められた舞台でした。



観客参加人形劇

「三びきのこぶた」

《人形劇 丹下進オフィス》

2001年10月19日(金)18:30～

明倫小学校 体育館



みんなが知っているあの三びきのこぶたのおはなしに、アドリブたくさんの人形劇でした。

こわ～いオオカミが、こわ～い声で「ブタはどこへ行った」と、聞くと、萩の子はなんて素直なんだろう、「あっち」と、正直に教えてしまいました。レンガの家を作る時は、お父さんのお手伝い、きびしい演技指導のかいあって、ぶじ、りっぱな家ができました。

子どもたちはもちろん大喜び、それ以上に楽しんでしまったのが大人でした。

榑 東
ブロック
担当

「母里のまつり森の詩」

《民俗歌舞団荒馬座》

2001年12月 4日(火)18:30~

土原体育館

子どもセンター初めての劇団でしたが、夏に和太鼓のワークショップを行っていたのでとても親しみを持って接することが出来ました。会場が土

原体育館だったので荷物の搬入は大変でした。舞台道具も大きいものが多く階段が上がるかどうか心配でしたが、無事設営できてよかったです。舞台は体育館を入ると客席が取り囲まれるような形で、本当にお祭りという雰囲気の中での舞台観賞でした。幸いなことに当日のお手伝いをブロックの方が快く引き受けてくださり、搬入から搬出までスムーズにいったのではないかと思います。最後に荒馬座の方々が、お手伝いのお礼にと『貝殻節』を歌ってくださったのが印象的でした。



指 月
ブロック
担当

ロバの音楽座

「トーナドーナの音楽会」

《ロバハウス》

2002年2月21日(木)18:30~

萩市民館 大ホール

今までに見たことも聞いたこともないたくさんお楽器や音色との出会い、いっしょに歌ったり「クリンコリリン」ととなえたり、不思議な世界を楽しみました。また、子どもたちは希望によりガランピー隊としていっしょに出演でき、とても楽しい経験ができたようです。アンケートの回収率も高く、魅力あふれる舞台だったことをうかがわせます。その中からは、子どもたち一人ひとりの小さな感動がたくさん伝わってきました。「トーナドーナの音楽会」は、不思議な魅力あふれるすばらしい舞台でした。

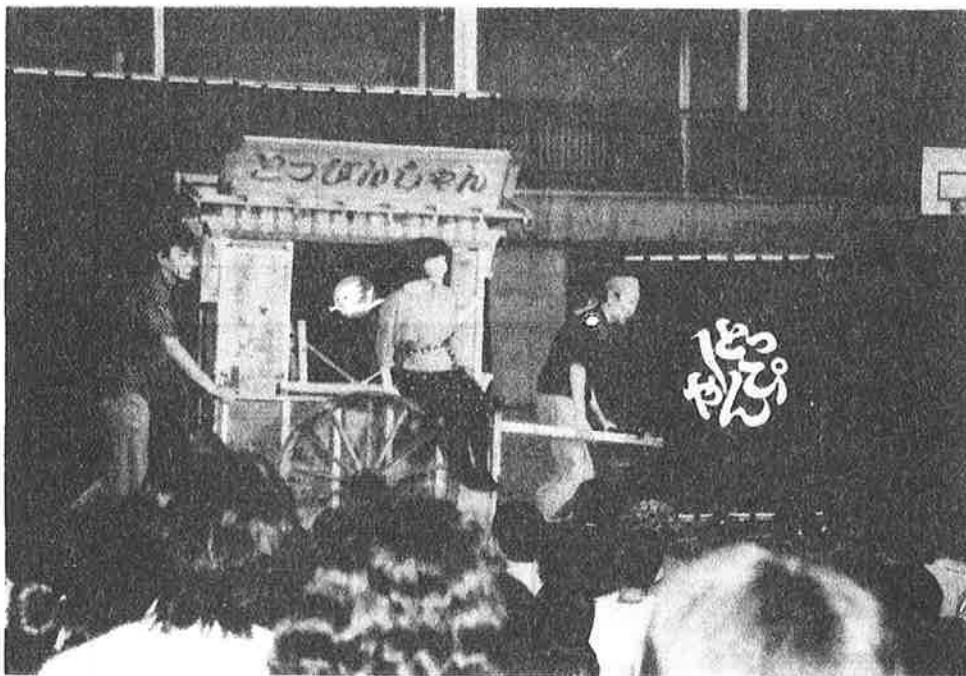


☆ 子 ども 舞 台 芸 術 小 公 演 (フェスティバル)

- ・ こまサーカス (日本独楽博物館) 指月ブロック
2000年6月9日 10:00 堀内体育館
- ・ 風の子あそびやとつぴんしゃん (風の子九州) 中央ブロック
2000年6月18日 19:00 明倫小学校
- ・ 不思議ってステキ (大田ひろし事務所) 椿東ブロック
2000年6月25日 19:00 椿東小学校

今年度は3ブロックがフェスティバルに取り組みました。子供達が
歩いていける身近な場所での開催は、生の舞台を間近で見られること
はもちろんですが、ブロックの会員同士、またはこどもセンターと地
域とのつながりを深めるこにもつながりました。

しかし、時期が重なったことでチケットの声かけが難しく、経済的
な面から考えても配慮が必要だったとおもいます。



屋台を引いて登場・・・さあ、あそびやが始まるよ。